

山口県土木工事施工管理基準(農村整備編) 新旧比較表

出来形管理基準及び規格値									
新(令和4年度)					旧(平成30年度)				
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所、摘要	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所、摘要
13編 1章 3節 1条					13編 1章 3節 1条				
基盤整地 表土整地	均平度 (X)	±35	30a当たり30点の割合で測	植栽面積の測定結果を提出する。	基盤整地 表土整地	均平度 (X)	±35	30a当たり30点の割合で測定。	植栽面積の測定結果を提出する。
	標高較差	(平均値) ±50 (個々の計測値) ±150	1点/m ² (平面投影面積当たり)	ほ場全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。(ほ場周縁から水平方向に±50mm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。)「情報化施工技術の活用ガイドライン」の規定による3次元計測技術により測定する場合、「均平度」に替え「標高較差」による管理方法を用いることができる。		[新設]			

山口県土木工事施工管理基準(農村整備編) 新旧比較表

出来形管理写真撮影箇所一覧表							
新(令和4年度)				旧(平成30年度)			
工種	写真管理項目		概要	工種	写真管理項目		概要
	撮影項目	撮影頻度 [時期]			撮影項目	撮影頻度 [時期]	
13編 1章 3節 1条				13編 1章 3節 1条			
基盤造成	基盤造成、基盤整地の状況	1 耕区に 1 回 [施工後]		基盤造成	基盤造成、基盤整地の状況	1 耕区に 1 回 [施工後]	
		計測ごとに 1 回	3次元出来形管理の場合			[新設]	[新設]
表土整地	表土整地の状況	1 耕区に 1 回 [施工後]		表土整地	表土整地の状況	1 耕区に 1 回 [施工後]	
		計測ごとに 1 回	3次元出来形管理の場合			[新設]	[新設]